

# 理工学部男女共同参画シンポジウム ～男性側からの発信～

関西学院大学理工学部男女共同参画推進委員会では、大学及び理工学部男女共同参画推進宣言に則って、性別という垣根を克服した「学びと探求の共同体」の実現を目指して様々な活動に取り組んでいます。ただ、そうした実現にはむしろ、男性側の意識が大きな鍵になるとも言えます。

今回、「働き方改革」の先進企業として高い成果を上げている(株)SCSKの酒井氏、育児をしながらの男性フィールドワーカーの安岡氏、そして本学理工学部独自の育児支援制度を利用中の山本氏をお招きし、日頃意見を発信することの少ない男性側の視点から、「男女共同参画」のありかたを考えます。

**2018年11月2日(金) 13:00-16:00**

場 所:神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ1階シアター

開会あいさつ 13:00～

『理工学部の現状および大学の施策』

高橋 和子 (関西学院大学理工学部教授 男女共同参画推進委員会委員長)

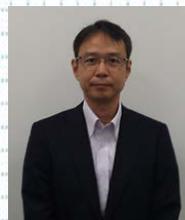
講 演 13:10～

13:10～13:40

『多様な力を企業の成長に

～全ての社員がいきいきと活躍する企業を目指した、  
働き方と人材育成の改革～』

酒井 大介 (SCSK株式会社 人事グループ人事企画部長)



13:40～14:10

『アフリカ研究への男女共同参画と

フィールドワークにおける工夫』

安岡 宏和 (京都大学アジアアフリカ研究センター 准教授)



14:10～14:40

『理工学部ピンチヒッター制度の利用と育児』

山本 倫也 (関西学院大学理工学部教授)



パネルディスカッション 14:50～

上記3名の講演者によるパネルディスカッション

<進行> 井村 誠孝 (関西学院大学理工学部教授 男女共同参画推進委員会委員)

閉会あいさつ 15:50～

『理工学部における男女共同参画の展望について』

水木 純一郎 (関西学院大学理工学部長)

お申込み

参加無料、要事前申込

<st\_gender@kwansei.ac.jpに所属、氏名、  
お子さまの一時預かりが必要な場合はその旨も合わせて  
ご記入の上送付ください>